

2019 年度ハドロキッズチーム 第 4 回開催

むかわ町子ども化石くらぶ「ハドロキッズチーム」第 4 回を 10 月 13 日（日）に開催しました。高学年クラスの午前の部には 21 名、低学年クラスの午後の部には 12 名が参加しました。今回はむかわ町穂別町民センターで開催しました。

三重県総合博物館の大野^{てるふみ}照文館長をお招きして、「三葉虫を調べよう」というプログラムを実施する予定でしたが、台風 19 号の影響で北海道まで来ることができなくなってしまいました。そのため、大野先生の授業はキャンセルとなりました。



高学年クラス（左）と低学年クラス（右）

三葉虫のレプリカ型と教材は届いていましたので、三葉虫のレプリカ製作したあと、化石と教材の観察をしました。

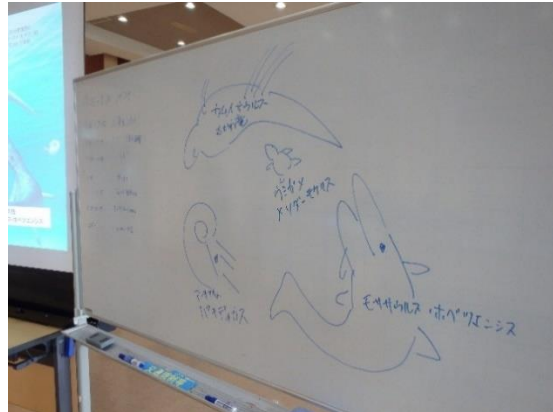
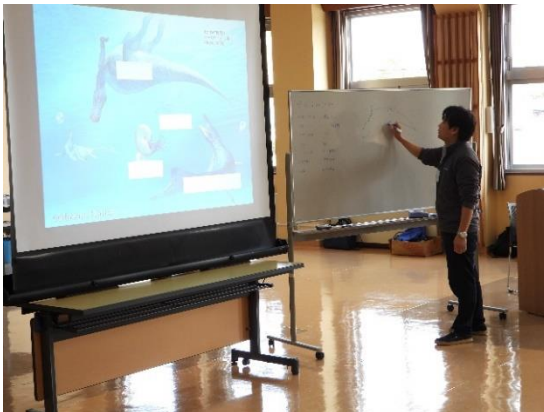


三葉虫のレプリカ作り



三葉虫の化石と教材（ぬいぐるみ）の観察

つぎに穂別博物館の古生物イラストに描かれている古生物の名前をあてるプログラムを実施しました。「むかわ竜（カムイサウルス）」などはみんな知っていましたが、アンモナイトや鞘形類（しょうけいるい、イカ・タコを含むグループ）の名前はほとんど知られていませんでした。これら古生物の名前は博物館内のパズルで学ぶことができますので、博物館に行って遊んでみましょう。



講義の様子。西村先生の板書。



児童のスケッチ。博物館のパズル。

休憩後、レプリカ作りを行いました。全 32 種類の穂別博物館レプリカ型から一つずつ選んで作ります。

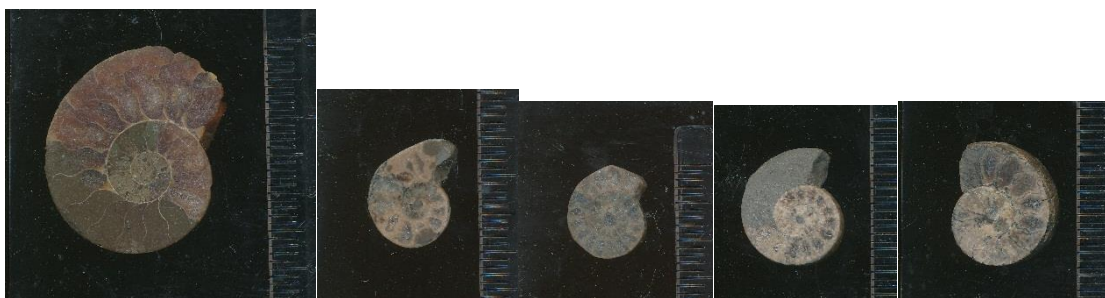


アンモナイトなどのレプリカ作り。32 種類のレプリカ型から選ぶ。

最後に、西村先生によるアンモナイトの講義を行いました。ハドロキッズチーム第 1 回から行ってきたアンモナイト磨きで、磨いたアンモナイトの内部の写真撮影（スキャナー使用）方法を学び、数人の会員が研磨した標本の写真撮影をしました。その後、北海道から産出していて世界的に有名なニッポニテスの話などを実施しました。



磨いたアンモナイトのスキャン



児童が磨いたアンモナイトのスキャン画像。博物館ではもう少し高い解像度でスキャンができます（希望する会員は西村先生に研磨標本を渡すか、12月と1月の補習で撮影してください）。



アンモナイト「ニッポニテス」のレプリカ観察。

穂別博物館学芸員 西村智弘・地域おこし協力隊 中田幸宏
（画像は一部加工をしています）